

平成26年度第3回金沢市廃棄物総合対策審議会

会 議 録

日時：平成27年3月24日（火）
午前10時00分～11時30分

会場：金沢市西部環境エコセンター
環境学習室

所管：金沢市環境局環境政策課

平成 26 年度第 3 回金沢市廃棄物総合対策審議会 議事録

■日 時 平成 27 年 3 月 24 日（火） 10:00～11:30

■場 所 金沢市西部環境エネルギーセンター「環境学習室」

■出席者 別紙のとおり

■内 容 以下のとおり

環 境 局 長 委員の皆様におかれましては年度末のご多忙中のところ、ご出席を賜り感謝申し上げます。また、日頃より本市の環境行政にご指導、ご協力いただき重ねて御礼申し上げます。

新幹線が 14 日に開業し、天候も「新幹線が春を連れてやってくる」のキャッチコピーどおりの陽気が続いた。開業効果もかなり出ているが、これをいかに持続させるかが大切だと思う。併せて金沢の良さはしっかり守っていくことが更に重要だと思っている。

本日の審議事項の第 5 期ごみ処理基本計画については、2 月 2 日から 3 月 3 日にかけてパブリックコメントを実施し、市民の皆様からたくさんの意見を頂いている。本日は頂いた意見に対する本市の考え方について、委員の皆様にご確認を頂くと共に、計画の最終案についてご意見を頂きたいと思う。また平成 27 年度廃棄物処理実施計画ほか 1 件について、併せてご報告をさせて頂く予定である。限られた時間ではあるが、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

事 務 局 ・ 欠席委員の報告
・ 出席委員数 12 名であり定足数を満たしていることを報告

会 長 本日の議事は審議事項が 1 件。報告事項が 2 件。審議は公開で進めたいがよろしいか。

（異議なし）

特に、異議がないようであれば、このまま審議を始める。皆様には忌憚のない意見をお願いします。

それでは、事務局から、「（1）ごみ処理基本計画案（最終案）について」の説明を資料 1、資料 2 によりお願いします。

説明員 資料1～2について説明

会長 ただ今の説明を受け、ご意見、ご質問はないか。

委員 パブリックコメント32番とその回答について、平成24年度から新しい焼却施設が稼動したことで、燃やすごみにプラスチックゴミが安易に増えているのではないか。基本計画の41ページにあるように、温室効果ガスの排出量が急速に増えている。削減量も2倍に増えたというが、トータルでは増えている。平成21年度に6万8千トンだったものが、25年度には8万7千トンまできている。パブリックコメントの意見ももつともだと思う。廃棄物対策の審議会だが、CO2削減も重要な議題になっている。金沢市の環境の計画の中で、温室効果ガス削減は目標を立てて取り組んでいる。CO2の総量に対し廃棄物の割合は少ないが、少しでも減らす努力をしなければいけないのでは。プラスチックごみも少し洗って汚れが取れなければ出していいので、安易に増えているように思う。そこを教育して、極力資源になるよう進めるべきではないか。

環境局長 容器包装プラスチックが燃やすゴミになっている件については、環境審議会の意見もあったので、分別を徹底し、資源に回して、そこからのCO2排出を抑制するよう、意識啓発に努めていきたい。その点も計画に盛りこみたい。

委員 有料化にともなって、こういうこともやるという案も示さないといけない。例えばおむつを使う乳幼児や高齢者、また腎臓透析など、どうしても普通の人とは違うごみが出る人に対してはこうしますというようなことなど。また、前回も出たが不法投棄の対策など、関係することを一緒に示さないと、有料化だけ独り歩きすれば反対が出るのは当たり前である。

環境局長 ごみ処理基本計画の中では、有料化を検討するという話である。検討というのは、どういう制度であれば市民の皆様に受け入れていただけるかということについて素案を作り、その中で今の話のような、いろいろな事情でごみが多い、負担するのが難しいなど、いろいろなケースがあると思うので、その対策も盛り込んで、市民の皆様の意見を聞いていく形で検討を進めたい。

委員 パブリックコメント3番にあるように、町連の方で税の二重取りではないかという話があり、受益者負担であることを説明したところ、金沢方式というものがあり、いろいろなものに受益者負担や地元負担

がついてくるという話があった。ごみだけでなく金沢市全体で、こういうものが増えていくのではないかという意見も出ていた。そういうところも説明していかないとやりにくいのではないか。

また、例えば町会では、収集されず残されたものについては出来るだけ出された人を探しているが、市指定以外のごみ袋が出た場合は誰が処理するのか説明して欲しいという話もあった。

環 境 局 長

負担の話については、福祉関係等に今後非常にお金がかかる状況があり、市全体である程度いろいろな分野で、受益者の方に負担していただかなければならない状況は否定できない。税の二重取りということについては、今までごみ処理が税込のみで賄ってきたので、そういう意見が出るのは当然かと思う。ただ、有料化した場合、税込でまかなう事業と、有料化の収入を充てる事業を整理し、理解を求めていく必要があると思う。

市指定以外のごみ袋が出た場合については、制度を立案していく上で、しっかりと検討していきたい。

委 員

現在企業の現状は、2013年のデータだが、倒産の1万件に対し、廃業は3倍の2万9千件であり、事業者が減っている。企業が減れば法人税も見込めず、定年にもなって所得税も見込めない。あとは消費税だけである。その上で、いかにして効率よく社会を維持するかとなると、ごみ処理にしても全て税金でということがありえなくなった場合、それなりの受益者負担をするということになるのでは。ただそのときに、所得の低い生活弱者の方々のことも考慮しないと維持できないのではないか。私としては、今、有料化と言われれば反対するかも知れないが、企業も増えていかない状況で、現在の状態を維持するためにはある程度の負担もやむを得ないかと思う。

委 員

きちんと分別している人も、ひと洗いせず燃やすごみにしている人もいるが、分別している人のやる気を削がないような方向に持って行った方がいい。また有料化した場合、大きな負担になると考える人は反対するので、一袋いくらになるのかということも示して欲しい。

「分け方・出し方」パンフレット11Pの金沢市ごみ処理券取扱店について、スーパーなど具体的にどこにあるのかHPにリンクさせるなどして、市民が取り組みやすいよう、宣伝が必要ではないかと思う。また容プラの油汚れの取り方など、資源化の仕方についても、現在流しているCMに入れるなどして、市民にアピールする必要があるのではないか。

環 境 局 長

資源化の仕方については、情報発信に努めたい。また有料化でどの

程度の負担になるかについては、他都市の事例なども踏まえ、金沢市としてはこの程度の水準でいきたいというものを、制度の素案を作った際に盛り込み、示した上で市民のご意見をいただいきたい。

委員 計画書案P44の、資源物にかかる1 t当たりの経費は7千円と安い。資源ごみなら回収して売却するだけだが、それ以外は燃やしたり、運搬したり、埋め立てたり、膨大な経費がかかるので、資源ごみなら経費がかからないということを示してはどうか。

環境局長 コストについては、資源化の方がお金がかかる。収集や圧縮梱包などの費用は、量が少ないので1 t当たりの処理コストは高くなる。逆に焼却や埋め立ては、量が多いので1 t当たりだと安くなる。P44の表は収集運搬経費などを含んでいないため、再度精査し、その結果が資源化を進める上で有効なものとなるようなら、しっかりアピールしていきたい。

委員 有料粗大ごみについて、私の近所でも、隣と一緒に出すなど工夫して出していたり、戸室リサイクルプラザで新品のような再生品を安く買うなど、上手に利用している。その反面、大きなものを自分で壊して小さくし、ステーションに出している人もいて、人それぞれだと思う。婦人会で有料化の話をしたとき、生ごみが一番多いのだから、ダンボールコンポストを普及させるよう皆に言いましょうという話になり、有料化になったとしても、ごみを少なくするよう頑張ろうということだった。容プラの汚れたものについて、私たちは水質浄化にも取り組んでいるので、なんでもかんでもひと洗いとなると水質浄化に反するという思いもあり、食器洗いで残った水でひと洗いする程度の水の量で出来ればいいと、前向きな話も出てきた。皆が理解して取り組んでくれれば、有料化になっても少ない負担になるし、全部ごみにすれば自分に返ってくるので、皆で考えていかなくてはいけないと思う。

リサイクル推進課長 本来、意識改革につなげていくための有料化でもあるので、それをアピールしながら検討していきたい。

委員 最近、婚姻率が下がって、個人世帯の割合が増えてきている。さきほどの意見のように前向きに取り組み、広げていくことには敬意を表すが、個人世帯が増えると、そこまで浸透するかが課題となる。そのことを計画に盛り込んでいかないと、組織的なところではいいが、そうでないところでは計画の実効性が乏しくなるという懸念があるので、検討して欲しい。

環境局長 単身世帯が増えることで、地域コミュニティが希薄になることについては、市としても懸念を持っている。啓発的なことも、コミュニティが希薄になることで浸透しないということもあるので、コミュニティの活性化なども含めて、啓発の効果が出るような工夫をしていきたい。

委員 大学の寮などの施設などに対し、ごみの分別の徹底やごみ処理券などのことについて、市としてアピールして欲しい。学校側に対する提案の現状はどうか。

リサイクル推進課長 大学に対し、新年度の学生に説明させて欲しいとお願いをしている。受け入れてくれるところと、拒否されるところがある。大概のところは受け入れてくれるが、時間制限もあり、説明が十分に行き届かない点もあろうかと思う。今後も引き続き学校側への交渉を行ってきたい。特に大学では日本人以外の方もいて、問題になっている。パンフレットは4ヶ国語で作成し、配布しているが、それ以外の国の方もいるので、できるだけ行き届いた対応になるよう努力する。

委員 余談だが、ある自治体で収集日に関わらず毎日ごみを出す外国人がおり、注意したところ「我々の国では毎日出している。」と意を介さなかった。

リサイクル推進課長 市営住宅課からも同じような話を聞いたことがある。行き届いた対応が出来るよう努力したい。

委員 全ての人が町会に入っているわけではない。賃貸の方や学生さんなど、町会以外の方が出し方、分別など問題がある。有料化は排出量による不公平をなくすというところからきていると思うが、決まりを守っている人だけが有料化となると新たな問題になると思うので、町会に入っていない人にどのように周知するか。今回のパブリックコメントで、50万人市民がいる中で18人しか意見が出なかったことは、概ね賛成であるのか関心がないのか判らないが、少ないと思う。意見の募集の仕方にも問題があるのか検討し、今後フォーラムで意見を伺うという形になっているが、もっと意見を賜わり、良い制度としてほしい。

委員 パブリックコメント5番について、将来的に竹を細かくする機械や枝葉を砕く機械などを各町会などへ貸し出しすることは考慮に入っているのか。というのは、今年は雪も多く、山間部では通学路へ桜の

枝が下りてきて危ないので、切って燃やそうと思ったが、消防に相談したところ環境局に言うようにと言われた。環境局では、規定の長さに切って出してもらえば処理するとのことだったが、そんなに沢山のものはできない。将来高齢者ばかりになると、機械化しないとできない。そこで市で貸し出すとか、いくつかの町会でまとめて買うなど考えていかないと、こういう問題が出てくる。神社の落ち葉も、1週間に10袋も20袋も出るときがあり、一度に出すのは気兼ねなので小出しにしているという話もあった。田舎であれば堆肥にすることも出来るが、街中ではそういうわけにもいかない。そういうところの対策も含めて説明して欲しい。

リサイクル推進課長 他都市ではそういうものを有料化の対象外にしているところもある。

委員 緑化を推進していながら、そのために出る剪定ごみなども有料化するというのがあれば反対だ。他都市では無料のところも多いし、金沢市でも有料にすべきではない。

リサイクル推進課長 剪定枝などを無料にする一方で、畑から出るごみには課金しているところもある。区別の仕方など、検討していきたい。

会長 貴重な意見をありがとうございます。
ごみ処理基本計画について、パブリックコメントに対する対応も含め、基本的に了承ということではよろしいか。併せて本日意見を頂いた事項の計画への反映と、細かな字句の整理については私と事務局に一任させて頂きたいがいかがか。

(異議なし)

会長 それでは第5期ごみ処理基本計画については、所要の調整の後、委員の皆様には事務局から改めてお示しする。

つづいて報告事項①一般廃棄物処理計画に係る平成27年度実施計画についての説明を事務局からお願いする。

説明員 資料3について説明

会長 ただ今の説明を受け、ご意見、ご質問はないか。

委員 資料3 P2の表の資源回収の欄に、集団回収も入れてはどうか。また「ごみの分け方・出し方」パンフレットのP14で、集団回収まで待

てない場合、6つの古紙回収業者が受け入れている旨が書いてあるが、ストアークる・ステーションが書いてあるなら、それもこの表に入れてはどうか。また、パンフレット裏面の地図に市の施設が書いてあるが、次回作る際には古紙回収業者も書いてはどうか。市民は計画は見ないかもしれないが、パンフレットは各戸に配布されるので、資源回収を進めるのであれば親切に書くべきだ。

- 環 境 局 長 次回作成する際に対応したい。
- 会 長 それでは報告事項②、有料粗大ごみ品目の見直しについての説明を、事務局からお願いします。
- 説 明 員 資料4について説明
- 会 長 ただ今の説明を受け、ご意見、ご質問はないか。
- 委 員 削除する品目についての理由は。
- 説 明 員 これらは小型家電類として資源化するという形で、法律が平成24年に施行されている。その法律に基づき、このような改正となった。
- 委 員 転入されてくる方にパンフレットは確実に渡されているのか。
- リサイクル推進課長 転入者に対しては年間を通じ、市役所で説明と配布を行っているとともに、問い合わせがあれば市民ステーションに置いてあるので、取りに行ってもらっている。
- 会 長 本日の議事は以上であるが、議事に関する事またはそれ以外のことでご意見ご質問等ないか。
- 委 員 認知機能の低下した高齢者のごみの分別や、収集についてどのように考えているか。
- リサイクル推進課長 平成25年度、26年度と、ふれあい収集検討会で、高齢者や障害者の安否確認を兼ねた戸別収集が出来ないか検討してきた。その結果、金沢市でもそういった対応が必要だというご意見を頂いている。時期や収集体制は未定だが、今後やり方をまとめていきたい。その中に今のご意見の方も入ってくると思う。
- 委 員 その際に、デイサービス等介護関連施設と絡めて活動できれば、収

集・分別も効率化出来ないかと思う。街中には独居が難しくなってきたり、一人暮らしあるいは老夫婦が確実に増えてきている。これから確実に問題になってくると思っている。

リサイクル推進課長 検討会の中では、基本的にはご近所の協力が得られない方を対象とするという意見が多かった。おそらく障害の度合いや、民生委員の方の意見などが、対象とする基準になろうかと思う。

委員 民生委員の方よりも、訪問看護の方など、定期的に訪問するので、介護関連施設との連携が良いと思う。

委員 検討会にはそういった関係の方も入っており、意見を頂いている。

会長 他に意見がないようであれば、本日の議事を以上とする。

事務局 長時間にわたるご審議と、25～26年度の2カ年にわたるご指導に感謝申し上げます。

これで、平成26年度第3回廃棄物総合対策審議会を終了する。

(別 紙)

平成26年度第3回廃棄物総合対策審議会出席者 (順不同、敬称略)

会長 関 平和 (金沢大学理工研究学域教授)
出村 昌史 (金沢大学医薬保健研究域医学系助教)
池田 啓一 (北陸大学薬学部講師)
林 健治 (金沢商工会議所常務理事)
山本 建夫 (金沢市町会連合会副会長)
能木場 由紀子 (金沢市校下婦人会連絡協議会会長)
松川 治彦 (石川県スーパーマーケット連絡協議会代表幹事)
福島 幸子 (金沢市一般廃棄物事業協同組合理事長)
元林 秀夫 (金沢農業振興協議会会長)
安井 嘉朗 (石川県環境部廃棄物対策課参事、
石川県環境部長 浜田孝委員の代理出席)
西元 修 (公募委員)
山家 善喜 (公募委員)

※欠席者

河内 久美子 (金沢学院短期大学副学長教授)
忠村 涼 (「金沢のごみを考える」学生連絡会)

(事務局出席者)

宮本 伸一 (金沢市環境局長)
佐久間 悟 (金沢市環境局担当部長兼環境政策課長)
蚊戸 進 (金沢市環境局担当部長兼リサイクル推進課長)
坂井 恒 (金沢市環境局施設管理課長)
鹿間 哲 (金沢市環境局環境指導課長)
中村 信治 (金沢市環境局環境政策課担当課長)
松岡 茂 (金沢市環境局リサイクル推進課ごみ減量化推進室長)
木谷 哲 (金沢市環境局環境政策課課長補佐)
宮田 久美子 (金沢市環境局環境政策課企画庶務グループ長)
加藤 祐介 (金沢市環境局環境政策課主査)